

いきものとなかよし～ようこそ！いきものパラダイス～

泉区 横浜市立新橋小学校 1年2組 湯浅 理恵

1 単元について

活動に向かう子どもの思いや願い

- ・国語「いきものクイズをつくろう」では、作ったクイズを休み時間に校長先生や他学年の先生、ペア学年の6年生に進んで出しに行った。今回も自慢の生き物を自然に見せにいくだろう。
- ・近隣の「せせらぎの小道」に散歩に行った際に、生き物の種類の多さに驚く子が多かった。
- ・アサガオ観察の際に、偶然、ヤモリが1匹見つけた。複数の子どもたちが欲しがり、取り合いになった。仲裁し逃がすことにしたが、一人の子が黙って家に持って帰ってしまった。
- ・七夕の短冊を書いた際に、カブトムシや生き物の事を書く子が見られるなど、生き物への関心は高い。
- ・夏に学校の隣のパンダ公園に行った際に、多くの子が虫取りを楽しんでいた。
- ・夏休みも生き物を捕まえたいと張り切っていて、カブトムシやヤモリなどを捕まえた子もいる。

身に付けさせたい力と材について

- ・学校の周りは住宅も多いが、新橋市民の森やせせらぎの小道など豊かな自然に恵まれている。ホタルや森を守るために活動している愛護会の方々もいる。ホタルや野鳥、昆虫といった地域の生き物に詳しい方もいて、出会いが期待できる。
- ・学年目標「あさがお」では、「あかるく さいごまでがんばり おおきくならう」と、小学校生活、最初の1年間を楽しく心も身体も成長する子どもを目指している。生き物を飼うことを通して、生き物だけでなく、自身の成長にも気付かせたい。
- ・自分が育てたい生き物との日々の関わりを通して、小さな生き物の様子に関心を持ち、それらには生命があることを実感し、生き物に親しむとともに大切にする態度が育つことが期待できる。
- ・生き物を飼うことを通して、幼稚園や保育園の友だち、上級生や教職員、地域の方との交流が期待できる。

他教科等との関連

- 【国語】
 - ・はなそう きこう
 - ・しらせたいな
 - みせたいな
- 【音楽】
 - ・虫の声
- 【道徳】
 - ・たいせつな いのち
 - ・いのちの
 - あたたかさ
- 【生活・他単元】
 - ・はるのこういで あそぼう
 - ・なつのこうえんで あそぼう
 - ・あきとあそぼう
 - ・ふゆとあそぼう

内容（8）生活や出来事の交流

内容（7）動植物の飼育・栽培

学校・地域特色

- ・学校の隣りにパンダ公園がある。
- ・学校から徒歩5分程度の所に、新橋市民の森やせせらぎの小道があり、癒しのスポットとなっている。
- ・地域の方々には、新橋の町を愛している方が多く、学校に対しても、協力的な方が多い。
- ・生き物に詳しい方が複数名いる。

単元目標

生き物を飼う活動を通して、それらの育つ場所、成長に伴う変化や様子に関心を持ち、生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にするができるようにする。

単元の評価規準

生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や 自分についての気づき
<ul style="list-style-type: none"> ・生き物にくり返し関わりながら、心を寄せて生き物の世話をするとともに、生き物との生活を楽しもうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよく育てるために、生き物本来の生育環境や生育条件に目を向けて世話をする。 ・夏から秋への変化を体全体で感じ取り、感じたことや気付いたことを基にして生き物との生活を工夫したり楽しくしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な飼育を通して、生き物が生命を持っていることや、成長していることに気づき、生命の尊さを実感する。 ・生き物とのかかわりを振り返り、その生命を守っている自分の存在に気付く。 ・生き物との生活を工夫したり楽しくしたりする自分の良さに気付く。

2 本单元における「学びをつなぐ」ための3つの手立て

(1) 実社会・実生活とつなぐ

校庭や、学校の隣りにあるパンダ公園といった身近な場所へ生き物を探しに行く活動を通して、「生き物は、校庭や公園のどこにいるのかな」「この生き物の名前はなんだろう」という興味・関心をもち、その追究を通して「飼ってみたい」と、思いや願いを高めていくことが期待できる。

何という生き物が分からない時に、子どもたちは上級生や他のクラスの先生に聞くことが予想される。また、図書室の司書のN先生に図鑑の場所や調べ方を聞かせる。

生き物との関わりを通して、気付いたり考えたりしたことを、「だから、わたしは～していきたい」と、生き物との生活をよりよいものにしていくという思いや願いへとつなげていく。

そして、そのような思いや願いの実現に向けて、自信をもって前向きに生き物との生活を改善したり、「いきものパラダイス」を開いたりしていきこうとする姿を目指し、追究の中で身に付けた資質・能力等に、子ども自身が気づき、自らの変容や成長を自覚できるようにしていく。また、学校の近くに住むYさんは、地域の生き物に大変詳しく、図鑑も書かれている。適切な場で出会わせたい。

(2) 一人ひとりの学びを「つなぐ」

学校の近くで探した生き物ではなく、家から飼っている生き物を持ってきて飼いたいという子もいるだろう。教師自身が、その生き物を探求的で追究に耐えうる価値のある対象であるかを見極めることも欠かせないが、「家から持ってきた〇〇でも良いか。」とその子からクラス全体に投げかけさせることで、子どもたちの主体的な活動にしていきたい。

子どもが一人1匹以上の生き物と体験的に繰り返し関わることを通して得られる気付きは、一人ひとり違う。生き物に名前を付ける子もいるだろう。そこで得た気付きをペアや同じ生き物を飼うグループ、全体等で共有することで、個の追究が高まったり、課題に対する結論や新たな課題が生み出されたりすることが期待できる。

さらに、友だちの見方・考え方と自分自身の見方・考え方をつなげることで、生き物に対する理解を深め、広げ、一人ひとりの中に実生活・実社会の中で生きて働く知識が形成されることを目指していく。そのためにも、座席表を作成し、一人ひとりの子どもの学びをつなげていく。

(3) 授業と授業、単元と単元を「つなぐ」

春には校庭で生き物を探し、梅雨時の雨上がりには学校の近くのせせらぎの小道、夏にはパンダ公園での生き物探しに取り組んできた。夏に訪れたパンダ公園で捕まえた生き物は、観察し、各々が自宅に持ち帰った。捕まえたバッタを夏休みの終わりまで1か月以上も飼った子もいた。

「夏休みには生き物をたくさんつかまえない。」と意欲的に夏休みを迎え、家の人とヤモリや虫捕りに行ったと絵日記に描く子が数名いた。

また、「なつとあそぼう」では、近隣の幼稚園や保育園と共に、水遊びを行った。単元の後半に行う「いきものパラダイス」に近隣園を招待することで、幼保小のつながりを深めることが期待できる。さらに、本単元の学習は、3年生以降の理科や総合的な学習の時間へのつながりも期待できる。

また、国語「しらせたいな、みせたいな」の学習とつなげる。本校には、うさぎやうずらといった飼育している動物がない。多くの子どもたちが、自身の飼っている生き物を知らせたいものに決定するだろう。飼っている生き物をよく見る活動により、国語でも深まりのある学習が期待できる。自分の生き物の「いろ」「かたち」「さわったかんじ」「様子」など見つけたことを短い文で書く。見つけた事柄を文章にまとめ観察記録文にする。記録文を家の人に知らせる機会を設けたり、6年生や2年生のペアに紹介したりする活動へとつなげていきたい。

3 「学びづくり」の柱の一つ「授業づくり」に沿って、研究主題に迫るための取り組み

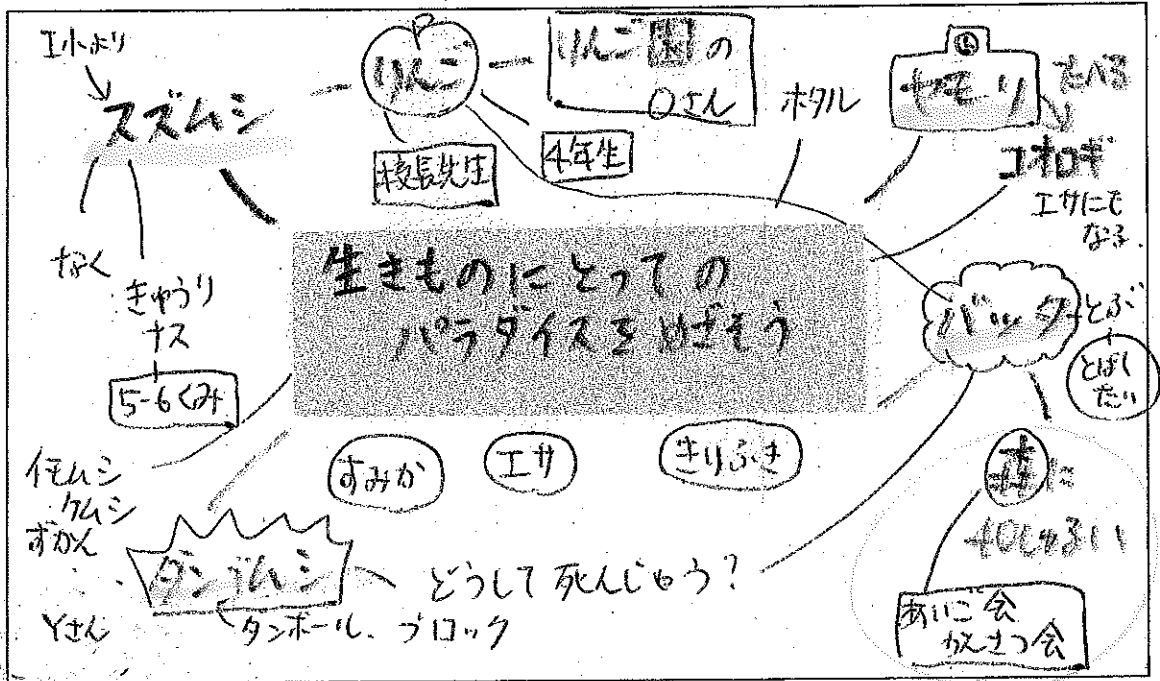
(1) 前時までの子どもの見取りに基づく期待する姿の設定～座席表の活用～

前時までの活動の様子やつぶやき、振り返りカード等、多様な視点から個々を見取ったり、学級全体の傾向を分析したりするために、座席表を作成する。

作成した座席表をもとに、一人ひとりの興味・関心、思いや願いの沿った教師の関わりが考えられることが期待できる。また、学級全体の傾向を見取りのもとに、本時目標や期待する姿を設定する。

(2) 期待する姿に向けた教師の手立ての明確化

①教師が単元のテーマに基づいて課題発見や課題設定のためのウェビングを行ってみる。



②教師の出と待ちを明確にする

○名人に合わせるタイミングを考える。

生き物名人Yさんというすてきな人物とどのタイミングで出会わせるかが、本単元の鍵といっても過言ではない。

夏に公園で見つけたイモムシの名前を調べるのに使った図鑑を書いた生き物名人は、学校の近くに住んでいるという事実から、一緒に生き物を探してほしいという活動につながるだろう。



○資料を与えるタイミングを考える

毎月、市の図書館の教職員貸出を利用している。担任する学年に応じた、その時々学習にふさわしい図書を学年文庫や学級文庫として置いてきた。今まで選書については、泉図書館を訪れ、その場で40冊借りたり、子どもたちのリクエストに応えたり、司書さんの力を借りて選書していただいたりしてきた。

今回は、教師自らが、子どもたちが飼いたい、世話をしたいと思われる生き物が載っている本を40冊厳選する。(出)全部で18館ある横浜市立図書館のインターネットによる蔵書検索で調べ、1年生でも扱いやすい内容の本が確かめた。(8ページ参照)うち4冊は借りることが叶わなかった。

40冊の本は当たり前のように与えるのではなく、子どもたちが必要感を感じたタイミングで与えるようにしたい。(待ち)

おそらく子どもたちは図書室に本を探しに行くだろう。司書のN先生に相談に行くだろう。うまく必要な情報が探せなかったり、内容が難しすぎると感じたりするタイミングで、「先生、今日、図書館の本、返しに行くけど、借りてきてほしい本ある？」と尋ねる。(出)子どもたちは、自分の生き物の世話や飼い方が書いてある本を希望するだろう。

③学習集団の作り方、場の設定

○生き物に慣らす ～すずちゃんとヤモさんがやってきた～

夏休み前までは、生き物係のAさんが、家からカブトムシ・クワガタムシ・カミキリムシを持ってきていた。生き物に関心のある子どもたちは熱心に観察していた。学級通信や教師の話で、折に触れて生き物について話をしてきた。夏休み前に、Aさんが帰りの会で「ヤモリを持ってきてもいいか」と聞いたところ、同じ生き物係のZさんが「もうすぐ夏休みだからやめておけば」と助言し、実現しなかった。夏休み中、Aさんから教師宛にヤモリ、イモリ、トカゲをつまかえたとハガキが届いた。

夏休み後、Aさんがヤモリと生餌のコオロギを持ってきた。担任が「名前は？ヤモさん？」と聞いている間に、子どもたちも「ヤモさん」と呼び始めた。

7月に近隣校からいただき、教師の家で育てていたスズムシたちを見せる。スズムシたちの大合唱も聞かれるだろう。スズムシの成虫の雌雄による形の違いに気付く子もいるだろう。国語「はなそう きこう」で一層、生き物に対する思いは高まるだろう。

～ヤモちゃん登場～

Aさんが休んだ25日(火)の夜、校舎内の階段をヤモリが下っていた。ヤモさんかと思ったら、しっぽが切れておらず、違うヤモリであることが分かる。「ヤモちゃん」と名付けられる。

○一人一種類1匹(以上)自分の生き物を飼う

クラスでしっかりと自分でお世話するよう「一人1匹(以上)の生き物を飼おう」と投げかける。

○生き物のすみかを作る

一人一種類1匹以上飼う生き物を決めた後、まずは見守る。生き物だけを入れている子、とりあえず草や水など入れる子、何を入れていいのか分からない子もいるだろう。生き物のすみかを作りたいという声が出るのを待つ。出てこなくても、子どもたちが生き物を飼う上で困難に直面するまでは、見守る。(待ち)

子どもたちから生き物のすみか作りが必要と気づいたタイミングで、すみかを作る活動を行う。まず、子どもたちに自由に生き物のうちをつくらせてみる。つぎに、生き物のすみかの絵をかかせる。絵をかく前に「みんなは、いえで、なにをする？」と投げかけて、いえでは、寝たり食ったりしていることを押さえる。生き物の家を絵にかかせることで、夏に公園を訪れた際に、虫かごに瀕死のイモムシと花だけ入れたり、アブラゼミの抜け殻をいっぱい入れたりしていた子も、生き物の家には、生き物や生き物が過ごすための土や水が必要なことに気付くだろう。

○すみかの場所を決める

教室が基本となる。教室以外に生き物のすみかを置く場合には、許可がいることを押さえる。

4 活動の流れ (14時間+常時活動)

活動のきっかけ 〈(夏休み明け)〉

国語「はなそう きこう」生き物をつかまえた友だちの話を聞く。

- ・おじいさんの家の近くでつかまえたよ。
- ・たくさんつかまえたよ。
- ・おとうさんとつかまえたよ。
- ・お母さんと弟とつかまえたよ。楽しかった。
- ・生き物はどこにいるか知りたいな。

かいたい いきものをさがそう ③

○なにがかいたいか。どこにいそうかな。けいかくをたてよう。

- ・ぼくは、カブトムシがいいな。
- ・夏休みにカブトムシを捕まえたから持ってきたいな。

○いきものはかせとじぶんがかういきものさがしにいこう。(雨天のため実現せず。代わりにバッタの話と飼い方を聞く)

- ・いきものいる場所が、よく分かったね

いきものの すみかをつくろう②

○図書室で調べよう。

- ・生き物をよく見て観察しよう。

○はかせは忙しいから、電話で聞いてみよう。

いきものパラダイスをめざそう⑧

○パラダイスのけいかくを立てよう

パラダイスをめざすために育て方をくふうしよう。

国語

「知らせたいな みせたいな」

音楽

「虫の声」

いきものこれからをかんがえよう①

- ・このまま教室で飼い続けたいな。
- ・家に持ち帰って飼いたいな。
- ・逃がしてあげたいな。

(ゴール)

- ・生き物となかよくなれてうれしいね。
- ・生き物の冬の過ごし方についても調べてみたいな。

5 評価 内容 (7) 動植物の飼育・栽培 (5) 季節と生活

単元 / 観点	生活への 関心・意欲・態度	活動や体験に ついての 思考・表現	身近な環境や 自分についての気付 き	
いきもの と な か よ し	○かいたい いきものを もちよったり、さがしたりしよ う。	・生き物を育てたり、 生き物とふれあったり することを楽しみにし ている。 ・生き物に関心をもち、 生き物が住んでいそう など進んで調べ たり、探したりしよ うとしている。	・生き物の飼い方を調 べたり考えたりし、そ れぞれの生き物に合 った飼育準備を進め ることができる。 ・生き物住みやすい場 所を考えながら、生き 物探しをしている。	・それぞれの生き物を 大切に育てようとい う願いをもち、世話の 仕方に違いがあるこ とに気付く。
	○いきものの すみかを つくろう	・飼う生き物の変化や 成長の様子に関心をも ち、すすんでふれあつ たり世話したりしよ うとしている。	・すみかを工夫してつ くったり、えさをやっ たりして上手に生き 物の世話をすること ができる。	・生き物の住みかや餌 の特徴に気付いてい る。
	○いきものパラダイスを めざそう	・友だちと協力してい きものにとってのパラ ダイスをつくろうとし ている。	・パラダイス(生き物 にとってのふさわし い環境)を考えなが ら、自分で生き物とふ れあう活動を行うこ とができる。	・生き物の日常の様 子や成長に伴う変化や その面白さや不思議 さに気付いている。
	○いきものこれからを かんがえよう	・自分なりに生き物の 命について考えを深め ようとしている。	・生き物の立場になつ て考え、考えたことを 表現している。	・生き物も自分と同じ ように生命があり、成 長していることに気 付いている。

9月10日 1～3校時 秋探し 弥生台グラウンド

		U 交流なし	E 交流なし		Z Cの網で バッタを捕 まえる。	AA	Xキリギリス を1匹捕ま えたうれし そうに報告。
I ダンゴムシ を何匹か捕 まえる。餌の 枯葉や、プロ ック片を入 れていた。	AB 虫かご虫 あみを持参 し、ちょうを 捕まえよう とするが、捕 まえられず。	C 虫かごにバ ッタを3匹。 Zに網を取ら れたと不満 そう。	G Kと共に バッタを捕 まえるが、虫 かごを持っ ていなかった。	AC アリを捕 まえるも、下 校時には死 んでしまう。	B 虫かごに昆 虫ゼリーを1 つ入れ、カブ トムシを捕 まえたいと 意気込むが、 捕まえられ ず。	H	K G と共 に、バッタを 3匹捕まえ るも、命があ るから逃が したい。
W	D	P	S 虫あみ虫か ごを準備し、 大好きなセ ミを捕まえ たかったが、 見つけれ ず。	F	T	A 欠席	O
J	Y コオロギの 赤ちゃんを 捕まえるも、 下校時には 死んでしま う。死んだこ とを認めたく ないのか、 足が動いた よと報告し て帰宅。	L	V	Q	N	R	M

考察

生き物を追いかけるも、すぐに逃がす子、捕まえられない子様々だった。

Iは経験があるのか、すぐに飼育環境を整えていた。

AB ちょうがつかまえられなかったと悲しそう。

Y生き物の死が受け入れられない

9月18日(火) 教師のせせらぎ掃除の話や、バッタ飛ばし大会の話聞く。

9月20日(木) 行く前に読み聞かせた本



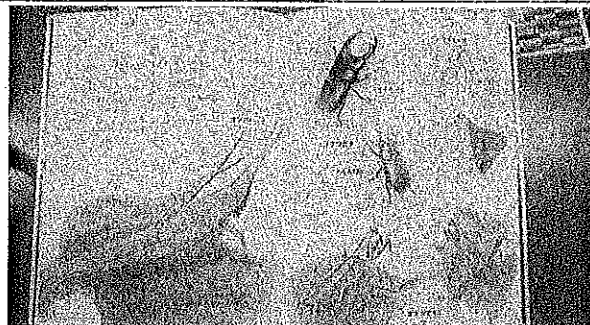
横浜市 泉 図書館 学校連携担当様

教職員向け貸出 申込図書一覧

図書名				冊数
こん虫をそだてよう・しらべよう1	岡島秀治	金の星社	3-0500567342	1
こん虫をそだてよう・しらべよう2	岡島秀治	金の星社	3-0500571934	1
こん虫をそだてよう・しらべよう3	岡島秀治	金の星社	3-0500571933	1
こん虫をそだてよう・しらべよう4	岡島秀治	金の星社	3-0500571932	1
ぼく、だんごむし	得田之久	福音館書店	3-0500597757	1
カブトくん	タダサトシ	こぐま社	3-0199037372	1
かまきり おおかまきりの一生	得田之久	福音館書店	3-0210040596	1
かぶとむし かぶとむしの一生	得田之久	福音館書店	3-0210040595	1
むしのあいうえお	今森光彦	童心社	3-0206074739	1
むしとりにいこうよ!	はたこうしろう	ほるぷ出版	3-0500069322	1
ふゆのむしとり?!	はたこうしろう	ほるぷ出版	3-0500210121	1
ぼくらのむしとり	柴田愛子	ポプラ社	3-0205011160	1
スズムシくん	木坂涼	福音館書店	3-0500062512	1
Welcome to the world of the sect	今森光彦	童心社	3-0500063356	1
Welcome to the world of the sect	今森光彦	童心社	3-0500063352	1
わくわく切り紙昆虫館 ハサミでチョキチョ	今森光彦	童心社	3-0210050599	1
かけるかな?むしムシ昆虫 さがしてかいてみてわかる	しもだともみ	PHP研究所	3-0209045637	1
どん・ぐりぞうのおはなし なんでもやのま	近藤薫美子	アリス館	3-0207088428	1
イモリくんヤモリくん	松岡たつひで	岩崎書店	3-0500343055	1
やもりのモリ-	田村ゆう子	福音館書店	3-0500187288	1
ヤモリ 世界のヤモリのタイプ別飼育	海老沼剛	誠文堂新光社	3-0210093690	1
可愛いヤモリと暮らす本 レオパ&クレ	富水明	エムピージェー	3-0210009236	1
やもり	疋田努	キンダーブック	3-0500262473	1
ヤモリ、トカゲの医・食・住	西沢雅	どうぶつ出版	3-0209021363	1
ヤモリ	疋田努	集英社	3-0206012060	1
五ひきのやもり	富永秀夫	教育画劇	3-0190477083	1
イモリ 有尾類 アカハライモリ・アホロートルの仲間たち	川添宣広	誠文堂新光社	3-0212075768	1
飼育観察完全ガイド 学校で飼う身近な生き物 4 学校で飼う水辺の生き物	木村義志	学習研究社	3-0207009186	1
いもり	金尾恵子	福音館書店	3-0203015969	1
いもり、イモリを飼う	谷本雄治	アリス館	3-0202045124	1
いもりのなま	松久保晃作	偕成社	3-0202016244	1
いもりのなま	松久保晃作	偕成社	3-0202016243	1
いもりのなま		ポプラ社	3-0198024118	1
いもりのなま	狩野晋	成美堂出版	3-0201028985	1
虫の飼いかた・観察のしかた 4 近所の虫の飼いかた	海野和男	偕成社	3-0199011755	1
スズムシ		ポプラ社	3-0198024117	1
すすむしケンゴのうた	柴田晋吾	文研出版	3-0196034490	1
よみがえったすすむしのうた	畑島喜久生	岩崎創作絵本	3-0190305402	1
スズムシ	吉家世洋	あかね書房	3-0190276253	1

9月26日(水)雨 Yさんたちにバッタやバッタの飼い方の話をしていた
 ころ。(晴 新橋市民の森に虫探しに行くことができなかったため)

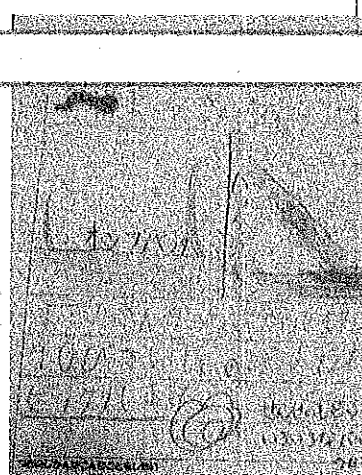
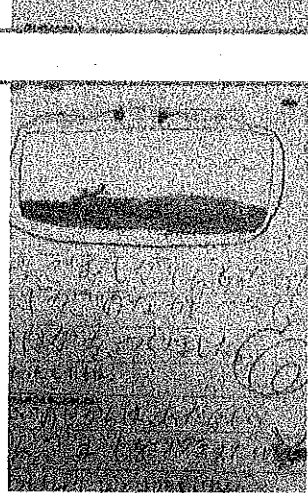
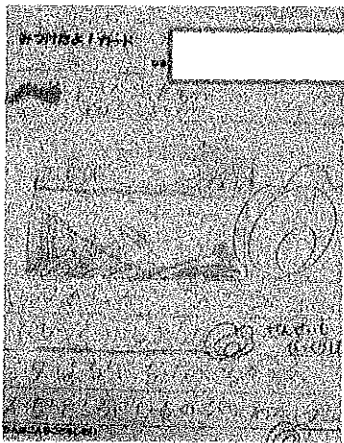
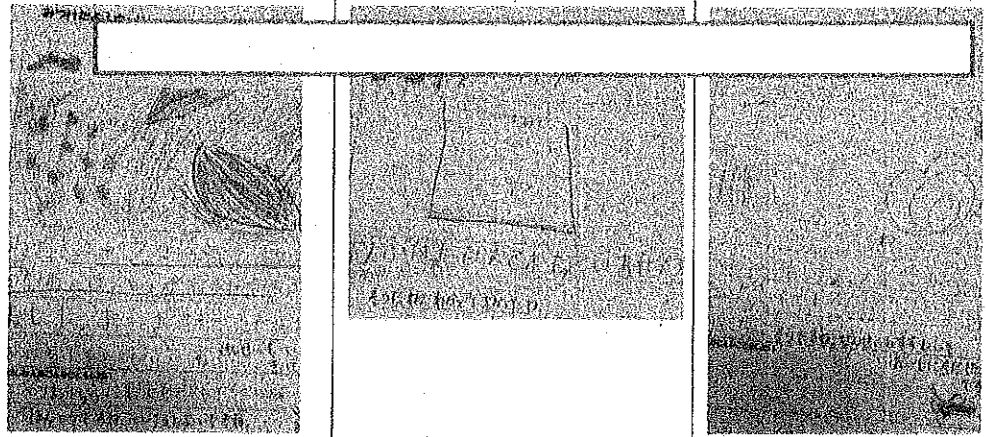
U (交流なし)	E (交流なし)							
Q よこたさんが、しょうかいしていたように、40匹いじょうのことを、わたしはビックリしました。	K バッタがたべているのはリンゴ、キャベツ。空っぽの飼育ケースにバッタだけいたので、理由を聞くと家の人に草を捨てられたとのこと。	O	H	G バッタ バッタをみせてあげてよかったです。あといろんなむしをおしえてくれてよかったです。	C バッタ バッタのことについてくわしくおもしろくお話を聞きました。もしたまごがかえってきたらだいにそだてたいとおもいます。	AA バッタ あさがおのおはなとか、はなをバッタがたべると、バッタがそのいるになる。	AC	Z バッタ バッタをとばせようと、空中に投げ始める。
S オンブバッタ かっているしゆるいがオンブバッタとわかりました。バッタのしゆるいが40しゆるいいじょうあるとわかりました。	N カタツムリ かたつむりはいいをたべてからおおきくなる。かたつむりはやさいがすき。	P バッタ むしのことをおしえてくれてとてもうれしいです。	F 欠席	I バッタ バッタのしゆるいがこんなにつばいいてびっくりしました。バッタはなにをたべるのかとかどんなところにいるのかわかって「うれしかったです。	B オンブバッタ どこまでとぶかわかりたい	AB オンブバッタ どこまでとぶかわかりたい	Y	X バッタ バッタがどこまでとべるかわかりたい。
L ダンゴムシ だんごむしがしんじやったので、むしかごのなかにつちでおはかをつくりました。つぎのじかんは、あたらしいダンゴムシをつかまえない。	M 欠席	R おんぶバッタ 小さな飼育ケースに砂場やベンチを入れている。Yさんの話を聞き、土を入れることに気づく。バッタがどれだけおおきくなるかかんさつしたい。	J バッタ おとなしくて、かわいいむしでよかったです。おかあさんよろこぶです。	A 欠席するも、Yさんに「また1ねん2くみにきてくださ」と手紙を書く。	D ダンゴムシ わたしやダンゴムシですが、らいねんはバッタをかいたいなどおもいました。またYさんにあつてまたおはなしをききたいです。つぎはいつしよにむしとりにいきたいです。	V バッタ	W	T カマキリ



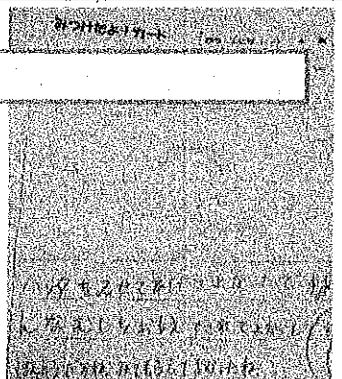
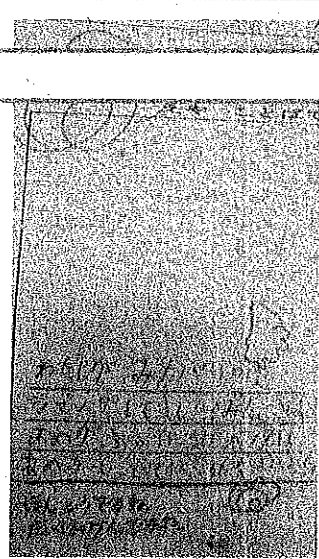
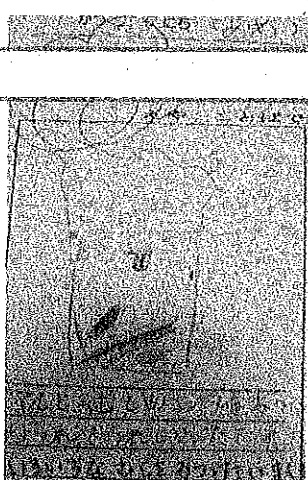
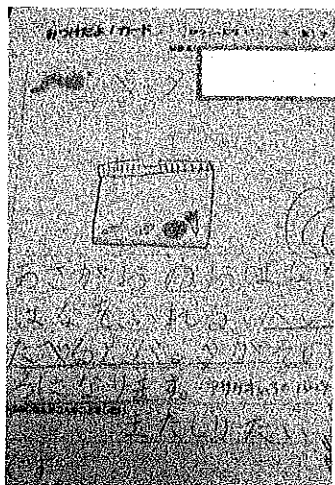
Bさんが発見した本と表示

U (交流なし)	E (交流なし)							
Q	K <u>バッタ</u> あしにはとげがありましてよく見て描くことができました。 21日には、飼育ケースを持参。	O	H 友だちと <u>バッタ</u> を探すも、自分では飼っていない。お世話タイムは、本を読んだり、教師の鈴虫の世話や片付けを手伝ったりする。	G <u>バッタ</u> や <u>チョウ</u> を捕まえる。21日には飼育ケースを持参。	C 夏休み前から1ヶ月以上買っていた経験があり、世話にも積極的。 <u>バッタ</u> の動きをよく見ている。	AA <u>ドン</u> <u>グ</u> <u>リ</u> を拾っている	AC	Z <u>バッタ</u>
S <u>バッタ</u> 「 <u>バッタ</u> のオリンピック」という本で <u>バッタ</u> の飼い方を一番に見る。飼育ケースには、 <u>ドン</u> <u>グ</u> <u>リ</u> も入っている。	N <u>カタツム</u> <u>リ</u> 捕まえた日は入れ物がなく、牛乳パックに入れていたが、翌日 <u>プラ</u> <u>カップ</u> や <u>きゅうり</u> などの餌を持参して世話をしていた。	P <u>バッタ</u> についての本を熱心に読み、飼い方を見つける。自らも <u>バッタ</u> を飼う。	F <u>バッタ</u> をつかまえる。21日には、飼育ケースを持参。	I <u>テントウ</u> <u>ムシ</u> <u>バッタ</u> <u>コガネムシ</u> (死んでいる) 飼育ケースから <u>バッタ</u> が逃げないように、ビニール袋で蓋をする。空気穴を開けている。	B 飼育ケースのみ持参。自分で虫が触れないので、Fに <u>バッタ</u> を捕まえてもらう。 <u>バッタ</u> と命名。雨でもこんなに虫がいてびっくり。	AB 前回に続き、なかなか虫を捕まえられずに泣きそうに。網で <u>バッタ</u> を捕まえようとしたが、 <u>バッタ</u> に当たり死なせてしまった。Fに捕まえてもらう。	Y <u>チョウ</u> と <u>バッタ</u>	X
L	M <u>バッタ</u> 友だちにあげる。 <u>コオロ</u> <u>ギ</u> を強く捕まえずに死なせてしまう。	R <u>おんぶ</u> <u>バッタ</u> を捕まえるも、下校前に <u>メス</u> が死んでしまう。	J	A 自宅より <u>カマキリ</u> を持参。お世話タイムは夏休み明けに持ってきた <u>ヤモリ</u> の世話もする。	D <u>ダンゴ</u> <u>ムシ</u> 17ひき。とてもたのしかった。	V <u>バッタ</u> つかまえてよかった。	W <u>Z</u> さんが <u>バッタ</u> を捕まえていました。	T <u>カマキリ</u> と <u>写真</u> 撮影

9月26日(水)雨 Yさんたちにバッタやバッタの飼い方の話をしていた。晴 新橋市民の森に虫探しに行くことができなかったため。

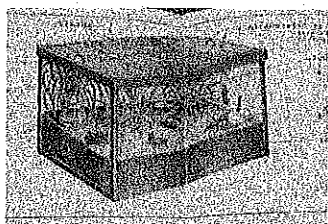


Sさんの虫かご



考察

横田さんの話を聞いたり、飼育ケースを見ていただいたりして、飼っている生き物に対する愛着が一段わいたようだ。



Sさんが見つけた本とページ

10月 入校式

いきものとなかよし ようこそ！いきものパラダイス



横浜市立新橋小学校
1年2組担任
湯浅 理恵

本校の紹介

横浜市立新橋小学校（横浜市泉区）

創立

昭和46年10月1日 2020年度で創立50周年

児童数 617人（平成30年4月1日現在）

学区 新橋町 弥生台

瀬谷区阿久和南1丁目・3丁目

町内会数 10

アクセス 相鉄いずみ野線 弥生台駅下車 徒歩10分

自然豊かで地域に愛されている学校

生き物を飼うことを通して、生き物だけでなく、自身の成長にも気付かせたい。



人やまちと豊かにかかわり、小学校生活、最初の1年間を楽しく心も身体も成長する子どもになってほしい。



材について

・学校の周りは、豊かな自然に恵まれている。

・せせらぎのホタルや森を守るために活動している愛護会の方々がいる。月に一度、自然観察会があり、観察会のメンバーの方々もいる

・『イモムシ・ケムシ』の図鑑を書いた方が学校の近くに住んでいる。

1. 単元について

身に付けさせたい力と材について

学校の周りは住宅も多いが、新橋市民の森やせせらぎの小道など豊かな自然に恵まれている。ホタルや森を守るために活動している愛護会の方々がいる。ホタルや野鳥、昆虫といった地域の生き物に詳しい方々もいて、出会いが期待できる。

・学年目標「あさがお」では、「あかるく、さいごまで がんばり おおきくなるう」と、小学校生活、最初の1年間を楽しく心も身体も成長する子どもを目指している。

生き物を飼うことを通して、生き物だけでなく、自身の成長にも気付かせたい。

・自分が育てたい生き物との日々の関わりを通して、小さな生き物の様子に関心をもち、それらには生命があることを実感し、生き物に親しむとともに大切に育てる態度が育つことが期待できる。

・生き物を飼うことを通して、幼稚園や保育園の友だち、上級生や教職員、地域の方との交流が期待できる。

1. 単元について

子どもの思いや願い

生き物を捕まえるのは楽しいな。

また生き物探しに行きたいな。

生き物を材にする

学校やまちの人との交流 子ども同士の交流

1. 単元について

単元目標

生き物を飼つ活動を通して、それらの育つ場所、成長に伴う変化や様子に関心をもち、生命をもっていることや成長していることに気づき、生き物への親しみをもち、大切にすることをできるようにする。

他教科等との関連

【国語】 ・ はなそう きこう ・ しらせたいなみせたいな

【音楽】 ・ 虫の声

【道徳】 ・ たいせつな いのち ・ いのちのあたたかさ

【生活・慣習元】

・ はるのこういであそぼう ・ なつのこうえんであそぼう ・ あさとあそぼう ・ ふゆとあそぼう

学校・地域の特徴

・ 学校の隣りにパンダ公園がある。

・ 学校から徒歩5分程度の所に、新橋市民の森やせせらぎの小道があり、癒しのスポットとなっている。

・ 地域の方々は、新橋の町を愛している方が多く、学校に対しても、協力的な方が多い。

・ 生き物に詳しい方が複数名いる。

1. 単元について

評価規準

生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や 自分についての気づき
・ 生き物にくり返し関わりながら、心を寄せ、生き物の世話をするとともに、生き物との生活を楽しもうとする。	・ よりよく育てるために、生き物本来の生育環境や生育条件に目を向けて世話をする。 ・ 夏から秋への変化を体全体で感じ取り、感じたことや気付いたことを基にして生き物との生活を工夫したり楽しくしたりする。	・ 継続的な飼育を通して、生き物が生命を持っていることや、成長していることに気づき、生命の尊さを実感する。 ・ 生き物とのかかわりを振り返り、その生命を守っている自分の存在に気付く。 ・ 生き物との生活を工夫したり楽しくしたりする自分の良さに気付く。

2. 本単元における「学びをつなぐ」ための3つの手立て

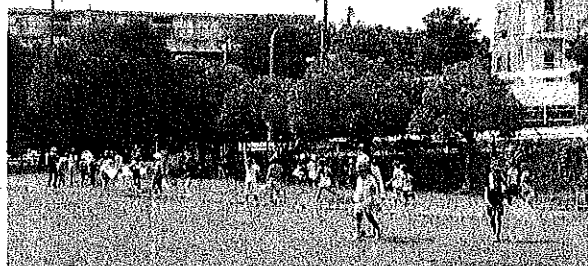
(1) 実社会・実生活とつなぐ

校庭や、学校の隣りにあるパンダ公園といった身近な場所へ生き物を探しに行く活動を通して、「生き物は、校庭や公園のどこにいるのかな」「この生き物の名前は何だろう」という興味・関心をもち、その追究を通して「飼ってみたい」と、思いや願いを高めていくことが期待できる。

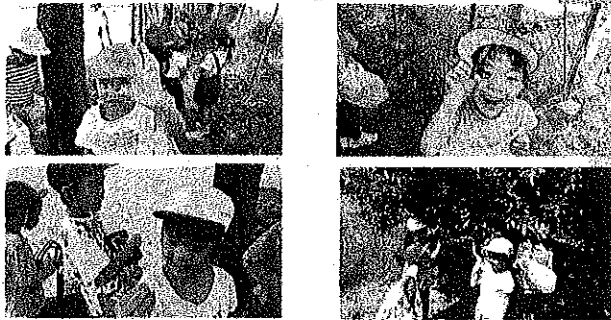
何という生き物か分からない時に、子どもたちは上級生や他のクラスの先生に聞くことが予想される。また、図書室の司書のN先生に図鑑の場所や調べ方を聞くだろう。生き物との関わりを通して、気付いたり考えたりしたことを、「だから、わたしは飼ってみたい」と、生き物との生活をよりよいものにしていこうとする思いや願いとつなげていく。

そして、そのような思いや願いの実現に向けて、自信をもって前向きに生き物との生活を改善したり、「いきものパラダイス」を開いたりしていこうとする姿を自信し、追究の中で身に付けた資質・能力等に、子ども自身が気づき、自らの実容や成長を自覚できるようにしていく。また、学校の近くに住むYさんは、地域の生き物に大変詳しく、図鑑も書かれている。適切な場で出会わせたい。

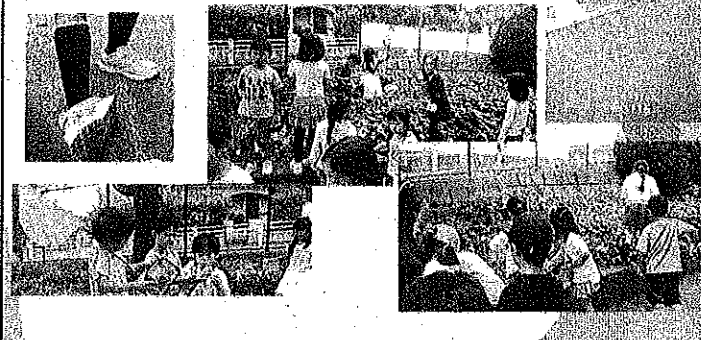
9月10日 あきみつけ

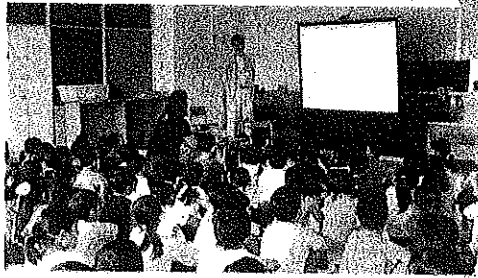


9月10日 あきみつけ

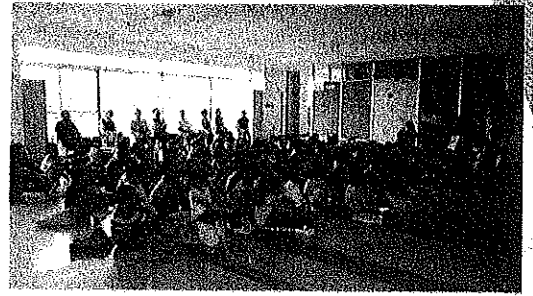


9月20日 いきものをさがしにいこう





図鑑を書いたYさんが来てくれました



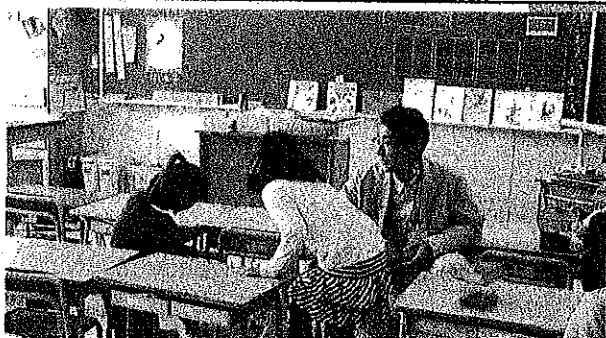
愛護会や自然観察会の方々も来てくれました。



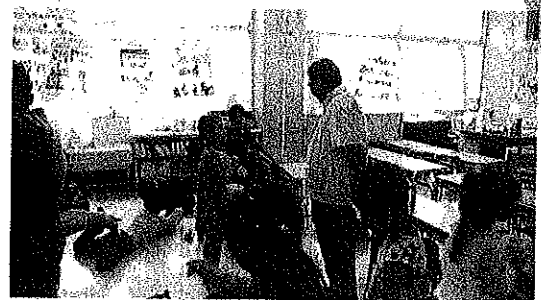
Yさんに聞きたいことがいっぱいです。



Yさんたちに飼っている生き物を見ていただきました。



Yさんたちに飼っている生き物を見ていただきました。



Yさんたちに飼っている生き物を見ていただきました。

